

防災 香久山区自主防災通信

2018.12.15号 発行/香久山区自主防災会

防災訓練の ご報告

11月11日(日)、さわやかな秋晴れのもと「香久山区防災(避難)訓練」を行いました。参加者は、スタッフ含め233名、タオル掛け実施は950戸、(実施率61.9%)でした。

今年も親子での参加もありました。家族で「もしも」の時のことを日頃から話し合っておくことが重要です。



タオル掛け



自治会受付で、参加者名を告げる



岩崎台・香久山福祉会館へ向かう

当日は朝8時、震度6弱の地震に襲われた想定です。まず自分の身を守り、家族や周りの人の安全を確認。無事の印のタオルを門扉などに掛け、岩崎台香久山福祉会館へ避難の訓練をしました。

今年度は、「香久山防災MAP」の改訂を行うための情報提供も募りました。

(訓練内容は、裏面へ)





足の方向に向かって、
ゆっくり、ゆっくりね。
意外に担架は難しい。

←シェイクアウト（下記参照）の話を聞く。



前日からの準備に感謝！

今年は「家具の転倒防止」「ガラスの飛散防止」「非常持出品」「非常用備蓄」に重点を置いて啓発をしました。もしもの時は、身につけていて初めて行動に余裕が生まれます。防災訓練は、機会がある毎に、ぜひ、ご参加ください。

スタッフの皆様、ありがとうございました。



ここにいる人が見えないくらいの煙。方向もわからなくなることを体験。



《上》非常持ち出し品および転倒防止道具の展示（協力/日進防災推進連絡会）
《右》組立式簡易トイレ。
「次回は、組み立ての体験もできれば」の声も。



ご家族で参加いただいた菅さん（手前）、大塚さん。「初めて参加。いろいろ勉強になりました。子どものコーナーがあると良いかも」

防災一口メモ

揺れを感じたら シェイクアウト

（地震から身を守る3つの安全行動）

